実施項目 2　効率的な組織体制の整備

取組項目 No.6

業務の見直しによる適正な人員配置と多様な働き方の実現

（第4次から継続）　**【担当：総務課】**

現状と課題

行政需要が増大する中、業務量全体に見合った定員が確保されていない実態が全国の自治体で浮き彫りとなってきた。
一方で、「業務量に応じた人員配置」と「業務の効率化」は密接不可分の関係にあり、「働き方改革」が課題となっている昨今、業務の効率化が進んでいない職場を中心に、人員配置に比して業務量が過大になっていることが推測され、これに起因する構造的な時間外勤務が生じている可能性は否定できない。
加えて、公務員の定年延長議論にも注視しながら、今後の適正な定員管理に努めていかなければならない。

取組内容

・業務量調査や事務事業の見直し
・時間外勤務命令等の勤務時間管理の徹底
・業務効率化に向けた部課長のマネジメント力強化の取組実施

年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	調査・研究	⇒	実施	⇒	⇒		

目標・成果

ワーク・ライフ・バランスの観点からも、業務量に応じた定員配置を行うことで、職員の業務負荷が過大とならない人事管理並びに時代に即した柔軟な組織体制を構築する。
・業務のバランスに合わせた適正な人員配置
・時間外勤務の削減
・業務効率化に向けた部課長のマネジメント力強化

数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
時間外勤務（1人あたり年平均）	時間	111	106	101	91	82		